

『“例会再開に当たっての留意点”の補足説明』

S協ホームページとS協ニュース7月号(No293)でお伝えいたしました「例会再開にあたっての留意点」につき、技術委員会として以下の補足説明をいたします。

技術委員長 勝亦隆夫

《ダンスプログラム上の留意点》

1 例会におけるダンスのスタイルについて

ノーハンドダンスや小道具を使ったダンスは、一日も早く仲間と踊りたいと願う会員のために、フィジカル・ディスタンスに配慮して考案された興味深いアイデアです。しかし、リードされてようやく踊れる経験の浅いダンサーにとって、手を使わないダンスはかなり大変です。これらは、S協が勧める新しいダンススタイルではないことをご理解ください。利用施設での制約が無く、会員の合意があり、今まで通りのスタイルで踊る場合は、基本の感染防止対策をした上で、マスクの着用、1チップ10分程度、1チップごとの手洗い・消毒、換気を必ず実行してください。

2 ダンスに手袋は必要ですか？

ウイルスは健康な皮膚には侵入できず、表面に付着するだけとされています。手洗い・消毒で、手についたウイルスを口、鼻、目から取り込まないことが肝心です。ダンス中は顔に手を触れないよう十分に注意しましょう。手袋着用は安全と思われがちですが、着脱が面倒でチップごとの手洗い・消毒がおろそかになることが多いため、S協としては勧めていません。ただし、利用施設からの要求であれば、それに従ってください。

3 コーラー・キューアからの飛沫防止策

マスクをつけてコールやキューイングをすると、ダンサーが聞きづらくなる場合があります。マスクを外すならダンサーとのフィジカル・ディスタンス(2m以上)をしっかりと保ってください。その場合は、ダンサーとの間にビニールカーテン等を設けることをお勧めします。フェイスシールドはマスクの補助として用いるもので、単体での使用はほとんど意味が無いとされています。マイクシールドも同様で、飛沫防止ができると勘違いするとかえって危険なため、S協としてはお勧めできません。

4 ラウンドダンスについて

ワルツやツーステップはクローズド・ポジションなど、密着度の高いポジションが多いため、当分の間控えるか、シャドウでのソロダンスを勧めています。ルンバやチャチャは離れて踊ることが多いため、簡単な振付で、密着する動作のない曲なら実施できそうです。

5 感染防止で最も大切なこと！

ダンス中は必ずマスクを着用し、1チップ踊るたびに換気、手洗い・消毒を励行してください。スナックはしばらく我慢です。

そして、最も重要なのはご自身の体調管理です。クラブ内外のお友達との会食や飲み会も当面見合わせましょう。

【参考資料】

スタンダード・プリコーション(標準予防策) <北大病院感染対策マニュアル H28.12 改訂版>

新型コロナウイルス感染症に関するQ&A <厚生労働省 HP 令和2年9月7日時点版>

【主に関連するQ&A】 2-問2: 新型コロナウイルスはどのように感染しますか

3-問3: 濃厚接触者とはどのような人でしょうか

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#top